

スペインを代表する室内楽グループ 「トリオ・カンディンスキー」のメンバー

アンパロ・ラクルス Amparo Lacruz, Cello



マドリッド王立音楽院を経て、スペイン文化庁奨学金を得てロンドンのギルドホール音楽院でステファン・ポポフ氏に師事。またフルブライト奨学金を得てシカゴのルーズヴェルト大学でキム・スコルズ氏に師事。1989年に国際的に活躍する室内楽アンサンブルグループ「マノン」を立ち上げ、以後10年間に渡り国内外での演奏活動や録音、と幅広く活躍し続ける。特にオリヴィエ・メシアン「世の終わりのための四重奏曲」で高い評価を得た。また同時にスペインの現代作曲家の新作初演も多数手がけた。1999年よりトリオ・カンディンスキーのメンバーとしてヨーロッパ、アメリカ、アジアと世界中で演奏を行う。トリオの録音したCDはどれも高い評価を得ており、2010年にはCDコンパクト・マガジン誌の「年間ベスト室内楽CD賞」を受賞した。

ラクルスの録音はスペイン国営放送、カタルーニャ・ムジカ、ラジオ・フランス、RAI(イタリア国営放送)、南西ドイツ放送協会、フィンランド国営放送、ユーロラジオ、TV3、チャンネル・メッツォといったヨーロッパ中の主要なラジオ、TVで放映されている。また、ピアニストのアンドリュエ・リエラと録音したCD「ウィンター・イン・フレーム」は「濃密で華麗、絶妙な音」(ラ・バングアルディア紙/スペイン)等と各紙で絶賛。他にもジョセフ・マリア・コロソ、アルバ・ベンチュラ、エミリー・ブルガーリヤといった著名なピアニストと共演を重ねており、特にブルガーリヤと録音したのロベルト・ジェラルのチェロ・ソナタのCD(ストラディヴァリウス・レーベル/伊)は高評価を得ている。

2013年にはカタロニアの主要な音楽祭「Forum de Santa d'Aro」の芸術監督に就任。現在リセウ音楽院(バルセロナ)教授の任にあるほか、中国、メキシコ、ペルー、ドミニカ共和国からも度々講師として招聘されている。2009年にトリオ・カンディンスキーとして以来の宗次ホール来演。

中川 朋子 Tomoko Nakagawa, Piano



桐朋学園女子高等学校音楽科卒業。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科在学中に渡欧。モーツァルトウム音楽院を首席で卒業。更にベルリン芸術大学を卒業後、モーツァルトウム音楽院修士課程を修了する。

これまでに坂口順子、伊藤仁美、故松岡貞子、佐野翠、岡本美智子、三木裕子、故ハンス・ライグラフの各氏に師事。室内楽を故アルトゥーロ・ボヌッチ、ブルーノ・メツェーナ、メナヘム・プレスラーの各氏に師事。

第19回イタリア・セニガリア国際ピアノコンクール第1位。第8回イタリア・ヴィオッティヴァルセジ国際ピアノコンクール第4位。チェリストとのデュオにより第6回イタリア・ヴィラールペローザ国際室内楽コンクール第1位、特賞受賞。'98年イタリア・ピネローロ国際室内楽コンクール第2位受賞。

在欧中、文化庁の助成によるリサイタル(演進コンサート)を行う。ロシア・カザン市におけるヨーロッパ・アジア国際現代音楽祭、フィンランド、イタリア各地の音楽祭に出演する。帰国後、NHK・FMリサイタル、CBCテレビに出演。日本ショパン協会例会(第236回)リサイタルなど、東京、名古屋にてリサイタルの他、室内楽奏者としても各地でコンサートを行う。

2014年3月ナミ・レコードよりCDプロコフィエフ「ロメオとジュリエット」ピアノ版をリリース。

これまでに宮城学院女子大学音楽科、愛知県立芸術大学非常勤講師(2014年3月まで)。

現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師、名古屋音楽大学准教授。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)